予 算 決 算 委 員 会 審 査 報 告 書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第109条の規 定により報告します。

令和6年(2024年)3月19日

宇部市議会議長 山 下 節 子 様

予算決算委員長 猶 克 実

記

事何	'牛の	番	号	件	名	議	決の)結:	果	議	決	の	理	由
議第	1			令和6年度字 予算	部市一般会計	原	案	可	決	市政執行上、	妥当な	予算措	置と認る	かた。
議第	2			令和6年度字 事業特別会計		原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認る	かた。
議第	3			令和6年度字 保険事業特別		原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認る	かた。
議第	4			令和6年度字者医療特別会		原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認る	かた。
議第	5			令和6年度字 排水事業特別		原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認る	かた。
議第	6			令和6年度字市場事業特別		原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認る	かた。
議第	7			令和6年度宇 市場事業特別		原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認る	かた。
議第	8			令和6年度字 業会計予算	部市下水道事	原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認る	かた。
議第	9			令和6年度字 会計予算	部市水道事業	原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認め	かた。
議第	1			令和6年度字 会計予算	部市交通事業	原	案	可	決	事業運営上、	妥当な	予算措	置と認る	ーー かた。

事	件の	り番	:号	件	名	議	決の)結;	果	議	決	<i>O</i>	理	由
										歳出につい	ては、	事業の実	施見込	みに合わ
										せた減額補	正のほ	か、国の	補正予算	算を活用
										して実施す	る小中	学校施設	長寿命(化事業費
議				令和5年度宇部市		原	案	可	決	や地籍調査	経費な	どを増額	i補正し、	歳入に
第	1	1	号	補正予算(第12回])	/尔	采	⊢ 1	八	ついては、	歳出に	伴い国・	県支出会	金、市債
										などを補正	するほ	か、収入り	見込額に	合わせ、
										市税や地方	消費税	交付金等	を補正	するもの
										であり、必	要やむ	を得ない	ものと	認めた。
			案号				案	可	決	歳出につい	ては、	総務費、	保険給何	讨費、基
=>4:				令和5年度宇部市	介護保険					金積立金、	地域支	援事業費	及び予	備費を補
議第	1	2		古光性四人 31 块子:						正し、歳入	につい	ては、支	払基金	交付金、
				う四/						国・県支出	金及び	繰入金を	補正する	るもので
										あり、必要	やむを	得ないも	のと認る	めた。
			案号					可		歳出につい	ては、	国民健康	保険事	業費納付
議	1			令和5年度宇部市 保険事業特別会計			案			金及び予備	費を補	正し、歳	入につい	ハては、
第 		3		(第2回)						繰入金を補	正する	ものであ	り、必要	要やむを
										得ないもの	と認め	た。		
			案号		宇部市後期高齢 会計補正予算	原	案	可		歳出につい	ては、	後期高齢	者医療原	広域連合
議		4		令和5年度宇部市 者医療特別会計補 (第2回)					決	納付金を補	正し、	歳入につ	いては、	. 繰入金
用 用	1	4								を補正する	もので	あり、必	要やむる	を得ない
										ものと認め	た。			
苯			案号	令和5年度宇部市	市農業集落 計補正予算	原			決	繰越明許費				
第第	1	5		排水事業特別会計			案	可		備事業を追	加する	ものであ	り、必要	要やむを
										得ないもの	と認め	た。		
亲关			案号	令和5年度宇部市	字部市中央卸売 別会計補正予算	原	案	可	決	繰越明許費		. ,		
議第	1	6		市場事業特別会計(第1回)						業を追加す	るもの	であり、	必要や	かを得な
										いものと認	めた。			
- *¥				人和日左连 党初去。		原	案	可		収入及び支	出額を	実施見込	みに合え	わせて補
議第	1	7		令和5年度宇部市 業会計補正予算(第					決	正するもの	であり	、必要や	むを得る	ないもの
										と認めた。				
= >±-			<u> </u>	人毛 - 左 - 左		原	案	可		収入及び支	出額を	実施見込	みに合え	わせて補
議第	1	8		令和5年度宇部市2 会計補正予算(第1					決	正するもの	であり	、必要や	むを得る	ないもの
										と認めた。				

事件の番号			:号	件	名	議決の結果		議	決	Ø	理	由
		9						損害賠償に	こ係る事	故費及(び保険金	②収入を補
議				令和5年度宇部市		原案	可 決	正するとる	ともに、	収入及で	び支出額	頁を実施見
第	1			会計補正予算(第		原 条	可 決	込みに合わ	つせて補	正する	ものであ	り、必要
								やむを得力	ないもの	と認めた	た。	
		1						物価高騰は	こ直面し	、影響	を受けて	いる住民
								税均等割の	りみ課税	世帯及び	び18歳	以下の児
			告		:報告し、承認を (令和5年度宇部 ・補正予算(第1			童を扶養し	している	低所得†	世帯に対	けして、生
報	1			専決処分を報告し求める件(令和5		承	認	活の支援を	を行うた	め、国風	車支出金	を財源と
第			号	市一般会計補正予算 1回))		净	政心	した物価語	高騰支援	給付金	を支給す	る経費で
								あり、妥当	当なもの	と認める	るととも	。に、専決
								処分につい	っても実	情やむる	を得ない	ものと認
								めた。				